

---

## 「網脈絡膜疾患における Optical Coherence Tomography (OCT)および OCT-Angiography 所見の特徴」に関するお知らせ

---

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。  
本研究は、総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。  
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2020年1月1日～2023年12月31日の期間に埼玉医科大学総合医療センター眼科を受診し、Optical Coherence Tomography (OCT)およびOCT-angiography (OCT-A)検査を受けられた患者さんを対象としております。

#### 2. 研究の目的

OCT、OCT-Aの登場により生体における網膜や脈絡膜などの微細な構造や血管の変化などが描出され、これまで分からなかった眼科疾患の病態や特徴などが明らかになりつつあります。しかし、未だ解明できない病態や経時的な変化を捉え切れていない疾患が多くあります。様々な眼底疾患におけるOCT、OCT-Aの検査結果を詳細に解析することにより、疾患の早期発見や治療効果の判定、Quality of Vision (QOV)の向上に役立つための一助となる研究を行うことが本研究の目的です。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～2025年3月31日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

2024年9月5日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 試料・情報の内容

年齢、性別、内頸動脈狭窄・閉塞の程度、視力、眼圧、細隙灯顕微鏡所見、眼底写真、光干渉断層計(OCT)、OCT-A、コントラスト感度検査\*、血圧、現病歴、既往歴、家族歴、喫煙などの生活習慣

\*：通常の視力検査で捉えられない微細な視機能の低下を定量化する検査

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センター眼科において、研究責任者である小泉 宇弘が個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのた

め、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

## 2. 試料・情報の取得方法

OCT、OCT-A 検査を実施した際の検査データおよび診療記録等を用います。

## 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

研究機関：埼玉医科大学総合医療センター 眼科

研究責任者：眼科 医師 助教 小泉 宇弘

## 4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

### お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター眼科 小泉 宇弘

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話番号：049-228-3682 眼科外来（土日祝日を除く 14:00～17:00）

○研究課題名：網脈絡膜疾患における Optical Coherence Tomography (OCT) および OCT-Angiography 所見の特徴

○研究責任者：眼科 医師 助教 小泉 宇弘